

Technical-18th サイト構築-6

本サーバーへのアップロード

パスワード管理

ディレクトリ確認

すべてのディレクトリにindex.html ファイルを入れる

MIME Type 設定

全体のテスト

各環境での表示テスト

リンクテスト

C G I 等動作テスト

マルチメディア関連に関して

データベース関連に関して

本サーバーへのアップロード

テストサーバー内での動作確認が完了したら、本サーバーへアップしてのテストになる。
アップロードに際して以下の点に注意すること。これらの注意点は基本的なものなので、サイトの規模や扱うデータによってはそれに応じた注意が必要。

パスワード管理

本サーバーのパスワードは、セキュリティ上大変重要な情報となる。これを使ってサーバーへログインするスタッフは、必要最少人数に限ること。

ディレクトリ、パス確認

サーバーのホームディレクトリの設定がどのようなパスになっているか、またCGIを使う場合にPerlのパスがテストサーバーと同じでよいかどうか、きちんと確認しておくこと。

すべてのディレクトリにindex.htmlを入れる

ファイル構成の都合上、index.htmlというファイルを作らないディレクトリが発生した場合、ユーザーのURLのさかのぼりでディレクトリリスト表示になってしまわないよう、すべてのディレクトリにindex.htmlファイルを入れること。(内容は「ここから先はアクセスできません。」などとし、戻るためのリンクを張っておくのもよい。)

MIME Type 設定

マルチメディア関連を扱う場合、サーバーにMIME Typeという設定を行う必要がある。たいていの場合は、通常使うほとんどのデータに関してはすでに設定済みだが、Real Playerなどの動画を扱う場合には、確認し、必要なら設定を加えること。

全体のテスト

サーバーへのアップロードが終わったら、本サーバーでの動作をテストする。この場合も、以下に挙げたのは基本的な注意点で、規模や扱うデータによってチェック事項も増えていくことになる。

各環境での表示テスト

想定している各環境での表示テストを行う。特にNetscape Communicator およびCSSの使用を想定している場合は、作業中に気づかない表示の差異が生じることもあるので、注意が必要。

リンクテスト

リンク関係がもれなくきちんと動作するかテストする。特にCGIを使用している場合、先にも述べたPerlのパスや、設定中のURLなどがテストサーバーと変わることがあるので、注意すること。

CGI等動作テスト

想定している各環境から動作テストを行う。ショッピングカートなどは、実際の購入申し込みまできちんとテストすること。

マルチメディア関連に関して

マルチメディア配信を行うために、専用のサーバーソフトを導入する場合は、上記のチェックをすべて終えてから、加えてマルチメディア関連の動作確認を行う。

データベース関連に関して

データベース連携を構築した場合は、上記のチェックをすべて終えてから、加えてマルチメディア関連の動作確認を行う。